

Ⅲ むすび

今回初の試みとして「市民生活実感調査」に係る分析を行ったが、本報告書は「未来の京都創造研究事業」に生かせるとともに、今後の市政運営にも役立つものとする。市においては、分野ごとに担当部局に配布し、各部署において今後の事業計画などに活用していただくことを期待する。

なお、「市民生活実感調査」は、回答者の偏りをなくするため、無作為抽出を前提に行っており、現在の郵送配布・郵送回収法は、政策評価を実施するうえで適切な方法と認められるが、属性別等の詳細な分析の信頼性を高めるためには、更なる回答数の確保に向けた取組が期待される。